

さがゆき vocal
林栄一 alto sax
小太刀のぼら piano

2024 09月01日(日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600~)

MC=3800+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



小太刀のぼら

東京西荻窪生まれ。中学生の時に、ジャズ好きの兄の影響でジャズに興味を持つ。いろいろなピアニストの演奏を聴き、突き詰めて行くうちに、自分に合った奏法・自分の音楽のスタイルを創ることを目指す。何よりも大切に思っていることは深い美しい音色を出すこと。そして自分の言葉で、プレスで、自分にしかできない音楽をやるのが大切と考え、今日に至る。

・現在の主な演奏活動

Poeta Feliz(さがゆき vo, 宮野裕司 as, 両氏とのトリオ)

Nov Nov(有明のぶ子 vib 氏とのデュオ)

自己のトリオ(安東昇b, 野崎正紀ds, 両氏とのトリオ)その他、複数のユニットに参加中。

・主なリーダー作品 (CD)

「のぼらさん」「散文歌」「孤独な旅-真夜中の歌

・主な参加作品 (CD)

「是安則克メモリアルウィズ 小太刀のぼら」

高橋知己 ts 氏の「Seven」

いずれもアケタズ ディスクより発売中

・主な著書「スタンダード ジャズ vol.1, vol.2」日音より

さがゆき

東京出身。5才にして歌手になることを決意。一切のジャンルを超えた言葉を伴う”うた”を歌う歌手であると同時に言葉の伴わない”声”を楽器としたフリーキーで幻想的な”完全即興”を歌う稀有な存在としてフランス、ドイツ、オランダ、インド、シンガポール、韓国、アメリカ、中国…世界中から招かれ、フェスティバル等に数多く出演。完全即興ワークショップも定期的に20数年間行っている。様々なアートにも自在に出入りし、共演者も中村八大(p), 富樫雅彦(perc), 高橋悠治(P), 沢井一恵(箏), 金大煥(perc), 姜泰煥(sax), 鬼怒無月(g), 加藤崇之(g), 内橋和久(g), 渋谷毅(p), 林栄一(sax), 潮先郁男(g), Elliott Sharp(multi), Anil Eraslan(cello), 大野一雄(舞踏), 白石かずこ(詩人), 谷川俊太郎(詩人), Heinz Geisser(ds)…等とボーダレス。映画音楽の制作も行う。アルバム多数。参加ユニット多数。スィングジャズから現代音楽、プログレッシブ・ロック、ブラジル音楽、即興音楽、クラシック、ファド、昭和歌謡…etc. を自分の世界にまで深めて歌う、その自在で多岐な活動は世界に類を見ない。年間約150本以上のコンサートを行う。

林栄一

中学時代ブラスバンドでサクスを始める。17才でプロになり、ビッグバンドや R&B バンドで修行を積む。1980年、山下洋輔トリオにプラスワンとして参加し、83年のヨーロッパツアーの演奏はライブ盤として発表される。1990年、自己のバンド MAZURU を結成し、同名の初リーダーアルバムを発表。ドイツニュルンベルグジャズ祭に出演、好評を博す。現在に至るまで日本を代表するアルト奏者の一人として幅広く活躍し、その唯一無二な音は渋谷毅オーケストラ、板橋文夫バンド、石渡明廣マルハウスなどでも欠かせない存在である。自曲の4管アレンジを聴かせる GATOS Meeting は2017年に2枚目のアルバム『The Book of GATOS』を発表。また様々なセッションを通じて林流インプロあるいは林流モンクをも追求し続ける。2015年7月には、アレンジャーとしての集大成である13人編成の林栄一 MAZURU 北海道 Orchester 札幌公演を成功させる。代表的アルバムとして、de-ga-show, Monk's Mood、音の粒、MAZURUの夢、森の人、Birds and Bees、鶴、融通無碍、回想を始め、多数の作品を発表している。